

理科 × 防災

小学校
第4学年

「雨水の行方と地面の様子」

水の流れ方やしみ込み方に着目して、それらと地面の傾きや土の粒の大きさとを関連付けて、雨水の行方と地面の様子を調べる活動を通して、それらについて理解を図る。

副読本の活用例

第1章 災害って、何？

<P5 『災害を引き起こす自然現象（地震や津波）』>

- ・水害等の危険箇所を示す「ハザードマップ」があることを知る。

第2章 大雨や台風にも、どう備える？

<P9～10 『大雨や強風による被害について学ぼう』>

- ・雨水が川へと流れることを知り、自然災害との関連を考える。

小学校
第5学年

「天気の変化」

雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べる活動を通して、それらについての理解を図る。

副読本の活用

第1章 災害って、何？

<P4 『災害を引き起こす自然現象』>

- ・台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを知る。

第2章 大雨や台風にも、どう備える？

<P12 『大雨や台風から身を守る行動を学ぼう』、P13 『ワークシート』、P15 『準備しよう』>

- ・台風などの風水害が発生したときの危険を知り、風水害に対する備えについて考える。

<P14 『情報を手に入れよう』>

- ・長雨や集中豪雨、台風などの気象情報を効果的に活用することが自然災害から身を守るために大切であることを知る。

第4章 避難に備えよう

<P36 『災害と避難』>

- ・災害時に「避難情報」が発信された際の命を守るための避難について知る。

小学校 第5学年

「流れる水の働きと土地の変化」

流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについて理解を図る。

副読本の活用

第2章 大雨や台風に、どう備える？

<P9～10『大雨や強風による被害について学ぼう』>

- ・長雨や集中豪雨がもたらす川の増水等による自然災害を取り上げ、これまでの学習と自然災害を関連付けて考える。

<P11『ワークシート』>

- ・長雨や集中豪雨から身を守る行動について考える。

小学校 第6学年

「土地のつくりと変化」

土地やその中に含まれている物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変化についての理解を図る。

副読本の活用

第1章 災害って、何？

<P3『千葉県に大きな被害をもたらした台風や地震』>

- ・地震がもたらす自然災害について千葉県の過去の被害について知る。

<P5『災害を引き起こす自然現象（地震や津波）』>

- ・地震や津波が発生するしくみについて知る。

第3章 地震や津波に、どう備える？

<P20『ワークシート』、P21～23『地震や津波による被害について学ぼう』>

- ・地震や津波の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験した体験を聞き取る。
- ・地震がもたらす自然災害について千葉県の過去の被害を知る。

<P24『ワークシート』、P25～26『地震や津波から身を守る行動について学ぼう』>

- ・地震や津波発生時に身を守る行動について考える。（学校・家・通学路・お店・川や海の近く）

<P27『ワークシート』、P28～29『地震や津波に備えよう』>

- ・地震や津波への備えについて考える。

第5章 その他の災害から身を守る

<P39『いろいろな災害とそのときに注意すること』>

- ・降灰被害（火山噴火）について知る。

第2章 大雨や台風にも、どう備える？

(1) 教科との関連

第4年理科 「雨水の行方と地面の様子」

(2) 目標

雨水の行方と自然災害を関連付け、自分の生活圏内の水害リスクを調べ、水害発生時の行動について考える。

(3) 展開例

過程・時配 (学習形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点 ☆評価(方法)
見いだす 10分 【全体】	1 本單元について、振り返る。 ・水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること ・水のみみ込み方は、粒の大きさによって違いがあること 2 自分たちが住んでいる地域で水がたまりやすい場所について考える。	○単元導入時の自分の考えと比較し、自身の変容を感じながら雨水の行方と地面の様子について振り返ることができるようにする。
自分で 取り組む 広げ深める 25分 【個】 【全体】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">自分たちが住んでいる地域に水がたまったら、どこに避難すればいいのだろうか。</div> 3 雨水が川へと流れることを知り、自然災害との関連を考える。 ・大雨などによって川の水の量が増えるるとどのようなことが起きるか。 <u>堤防が壊れる 橋が流される 水が溢れる</u> ↳洪水災害(洪水) ・洪水によってどのような危険が起きるか。 <u>車が流される 建物が浸水する</u> ・地域のどこに水が溜まりやすいか。 <u>川の近く 山の麓 地面が低い所</u> 4 洪水等による危険箇所を示す「ハザードマップ」があることを知り、「ハザードマップ」を使って学校や自宅周辺の浸水区域を調べる。 ・水が溜まりやすい場所はどこか。 ・水がつかからない場所はどこか。 ・近くにある河川が氾濫したときに、どこに避難したらよいか考える。(避難所の場所)(避難経路) 5 水害から身を守るための行動や自分にできる備えについて考える。	○副読本P9～10の『大雨や強風による被害について学ぼう』を示し、身近な地域で起こり得る自然災害と本単元で学んだこととの関連を図る。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; background-color: #e6f2ff;"> <副読本P8ワークシート> 家庭学習として自分たちの住んでいる地域で大雨や強風による被害について身近な人にインタビューする活動を取り入れてもよい。 </div> ○副読本P5を示し、危険な場所を知るための「ハザードマップ」があることを伝える。 ○近年、記録的な大雨が続いており、いつどこでどれくらいの雨が降るのかの予測も難しいことがあるので、日頃から注意しておくことの大切さを伝える。 ○自宅が安全であるときは、とどまることも必要であることを伝える。 ☆雨水の行方と自然災害を関連付け、自分の生活圏内の水害リスクを認識し、水害発生時の行動を考えることができたか。
まとめ あげる 10分 【全体】	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; background-color: #e6f2ff;"> <副読本P14> 家庭学習として家の人と一緒にマイタイムラインを作成する活動を取り入れてもよい。 </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px; margin: 10px 0;">自分たちが住んでいる地域の水害の危険性を知り、安全なところへ避難をする。</div>	

社会科 × 防災

小学校 第4学年

「自然災害から人々を守る活動」

県庁や市役所など関係機関が相互に連携したり、地域の人々と協力したりして自然災害から人々の安全を守るために行っている活動について理解を図る。

副読本の活用例

第1章 災害って、何？

<P3 『千葉県に大きな被害をもたらした台風や地震』>

- ・千葉県で過去に発生した自然災害について知る。

第2章 大雨や台風に、どう備える？

<P8 『ワークシート』、P9～10 『大雨や強風による被害について学ぼう』>

- ・大雨や強風の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験したことについて聞き取る。
- ・千葉県で過去に発生した台風や大雨等による被害を知る。

<P5 『災害を引き起こす自然現象（地震や津波）』P14 『情報を手に入れよう』、P15 『準備しよう』>

- ・関係機関や地域の人々は、気象情報を収集したり、災害の前兆現象を察知したりして、起こり得る自然災害による被害を防いだり減らしたりするための備えをしていることを知る。（ハザードマップ・マイタイムライン・ローリングストック等）

第3章 地震や津波に、どう備える？

<P20 『ワークシート』、P21～23 『地震や津波による被害について学ぼう』>

- ・地震や津波の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験したことについて聞き取る。
- ・地震がもたらす自然災害について千葉県の過去の被害を知る。

<P24 『ワークシート』、P25～26 『地震や津波から身を守る行動について学ぼう』>

- ・地震や津波発生時に身を守る行動について考える。（学校・通学路・家・お店・川や海の近く）

<P27 『ワークシート』、P28～29 『地震や津波に備えよう』>

- ・地震や津波への備えについて考える。

第4章 避難に備えよう

<P35 『ワークシート』、P36 『安全に避難しよう』、P37 『避難所で注意すること』>

- ・避難所での生活について考える。

第5章 その他の災害から身を守る

<P39 『いろいろな災害とそのときに注意すること』>

- ・雪害や降灰被害（火山噴火）による被害について知る。

自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることについて理解を図る。

副読本の活用例

第1章 災害って、何？

<P3 『千葉県に大きな被害をもたらした台風や地震』>

- ・千葉県で過去に発生した自然災害について知る。

第2章 大雨や台風には、どう備える？

<P8 『ワークシート』、P9～10 『大雨や強風による被害について学ぼう』>

- ・大雨や強風の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験したことについて聞き取る。
- ・千葉県で過去に発生した台風や大雨等による被害を知る。

<P5 『災害を引き起こす自然現象（地震や津波）』P14 『情報を手に入れよう』、P15 『準備しよう』>

- ・関係機関や地域の人々は、気象情報を収集したり、災害の前兆現象を察知したりして、起こり得る自然災害による被害を防いだり減らしたりするための備えをしていることを知る。（ハザードマップ・マイタイムライン・ローリングストック等）

第3章 地震や津波には、どう備える？

<P20 『ワークシート』、P21～23 『地震や津波による被害について学ぼう』>

- ・地震や津波の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験したことについて聞き取る。
- ・地震がもたらす自然災害について千葉県の過去の被害を知る。

<P24 『ワークシート』、P25～26 『地震や津波から身を守る行動について学ぼう』>

- ・地震や津波発生時に身を守る行動について考える。（学校・通学路・家・お店・川や海の近く）

<P27 『ワークシート』、P28～29 『地震や津波に備えよう』>

- ・地震や津波への備えについて考える。

第4章 避難に備えよう

<P35 『ワークシート』、P36 『安全に避難しよう』、P37 『避難所で注意すること』>

- ・避難所での生活について考える。

第5章 その他の災害から身を守る

<P39 『いろいろな災害とそのときに注意すること』>

- ・雪害や降灰被害（火山噴火）による被害について知る。

「国や地方公共団体の政治」の取組について、児童の関心や地域の実態に応じて、「社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組」の中から選択して理解を図る。「自然災害からの復旧や復興の取組」を取り上げる場合には、例えば災害が発生したときに市役所、県庁が、自衛隊の派遣を要請するなど国と協力しながら救援活動を行ったり災害復旧のために物流拠点を配置したり、さらに、長期的な視野に立って地域の再興に向けて様々な施策を実行したりしていることについて理解を図る。

副読本の活用例

第1章 災害って、何？

<P3 『千葉県に大きな被害をもたらした台風や地震』>

- ・千葉県で過去に発生した自然災害について知る。

第2章 大雨や台風に、どう備える？

<P8 『ワークシート』、P9～10 『大雨や強風による被害について学ぼう』>

- ・大雨や強風の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験したことについて聞き取る。
- ・千葉県で過去に発生した台風や大雨等による被害を知る。

<P5 『災害を引き起こす自然現象（地震や津波）』P14 『情報を手に入れよう』、P15 『準備しよう』>

- ・関係機関や地域の人々は、気象情報を収集したり、災害の前兆現象を察知したりして、起こり得る自然災害による被害を防いだり減らしたりするための備えをしていることを知る。（ハザードマップ・マイタイムライン・ローリングストック等）

第3章 地震や津波に、どう備える？

<P20 『ワークシート』、P21～23 『地震や津波による被害について学ぼう』>

- ・地震や津波の怖さを感じるため、身近な人が過去に経験したことについて聞き取る。
- ・地震がもたらす自然災害について千葉県の過去の被害を知る。

<P24 『ワークシート』、P25～26 『地震や津波から身を守る行動について学ぼう』>

- ・地震や津波発生時に身を守る行動について考える。（学校・通学路・家・お店・川や海の近く）

<P27 『ワークシート』、P28～29 『地震や津波に備えよう』>

- ・地震や津波への備えについて考える。

第4章 避難に備えよう

<P35 『ワークシート』、P36 『安全に避難しよう』、P37 『避難所で注意すること』>

- ・避難所での生活について考える。

第5章 その他の災害から身を守る

<P39 『いろいろな災害とそのときに注意すること』>

- ・雪害や降灰被害（火山噴火）による被害について知る。

第4章 避難に備えよう

(1) 教科との関連

第5年社会科 「我が国の国土の自然環境と国民生活との関連」

(2) 目標

災害時の非常持出品や備蓄品について考え、備える行動ができるようにする。

(3) 展開例

過程・時配 (学習形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点 ☆評価
見い出す 5分 【全体】	<p>1 本單元について、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は地震や台風などの自然災害が多い国である。 ・自然災害は毎年のように日本のどこかで発生し、大きな被害をもたらしている。 ・自然災害を防ぐために多くの人が防災・減災に向けて働いている。(公助・共助) <p>2 もし仮に自分の住んでいる地域で自然災害が発生し、避難することになったら、どんなものがあるとよいか考える。(自助の意識を高める)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">地震による津波発生に伴い、避難所に避難するように指示が出ました。避難所生活では、どんなものがあるとよいのでしょうか。</p>	<p>○現実に起こりそうな状況を設定し、自分たち取るべき行動を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸沿い地域→津波発生 ・浸水想定区域→大雨発生 等
自分で 取り組む 広げ深める 20分 【個】 【全体】	<p>家族で避難所に避難するとき、どんな物を準備すればいいのだろうか。</p>	
まとめ あげる 20分 【個人】 【全体】	<p>(1) どんなものを、何日分くらい準備するといいいのか予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水は必ず必要だと思う。飲んだり、洗ったり、トイレにも使ったりするから。 ・道がふさがって支援の食べ物が届かないといけないから、少なくとも食料は1週間分は必要だと思う。 ・うちのおじいちゃんは毎日薬を飲んでいるから、薬も必要だと思う。 ・ペットは連れていけるかな。エサも必要だよ。 <p>(2) 避難所での生活について調べる。</p> <p>3 調べたことをもとに、My 非常持出リュックの中身を考える。(実際に非常持出品等を用意し、試してみるのもよい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>食料・飲料水・給水袋 (非常食・水 等) <input type="checkbox"/>貴重品 (お金・保険証のコピー 等) <input type="checkbox"/>避難用品 (懐中電灯・ラジオ・電池・軍手・ヘルメット 等) <input type="checkbox"/>救急用品 (ばんそこう・マスク・消毒液・常備薬 等) <input type="checkbox"/>生活用品 (タオル・歯ブラシ・ライター・携帯トイレ・はさみ・カップ・ティッシュペーパー・衣類・毛布 等) ■家庭によって必要なもの (持病の薬・ペットのエサ・紙おむつ 等) <p>4 My 非常持出リュックに何を入れたのか発表する。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">災害に備えた非常持出リュックを用意しておくことが大切であり、中身については家族と話し合っておく。</p>	<p>○話し合いを通して、人それぞれ必要に感じているものが違うという点についても気づかせる。</p> <p>○副読本 P14 を示し、3日分以上の備蓄をしておくことをつかませる。(ローリングストックによる食料備蓄の実践)</p> <p>○副読本 P37 を示し、避難所では様々な人たちが一緒に生活をしていること、家庭の事情によって暮らし方が異なることを理解させる。</p> <p>○副読本 P40 のリンクを参考にさせる。入れたいものとともにその理由も記入させる。</p> <p>○家族構成、乳幼児の有無によって必要な物が異なることから、各家庭で話し合っておくことの大切さに気付かせる。</p> <p>☆災害時の非常持出品や備蓄品について考えることができたか。</p>
		<p><副読本 P40> 家庭学習として家の人と一緒に備えについて確認する活動を取り入れてもよい。</p>

特別活動 × 防災

特別活動の全体計画や年間指導計画の作成に当たっては、各学校の創意工夫を生かすとともに、学校や地域、児童の実態を考慮し作成されるため、実施学年等を指定することは困難である。そのため、学年の指定はせず、学級活動と学校行事の2つの活動について例を示す。

学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

第2章 大雨や台風はどう備える？

(1) 目標

大雨や台風を中心に突風・竜巻被害など気象を原因とした災害の特徴を知り、風水害は時系列的に生じることから、事前に取り組むべき行動ができるようにする。

(2) 展開例

過程・時配 (学習形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点 ☆評価
見いだす 10分 【全体】	<p>1 風水害について知っていることを話し合う。</p> <p>[種類] 大雨 台風 暴風 竜巻 等 [被害] 浸水 崖崩れ 停電 等 [困りごと] 電車が止まった 家に帰れない 屋根が飛んだ 川の水が溢れて物が流された 等 [備え] 防災バッグ 避難所確認 水・食料 等</p> <p>2 過去に千葉県を襲った風水害について知る。 ・令和元年房総半島台風 ・令和5年台風13号 等</p> <p>3 風水害にはどのような特徴があり、どのような危険があるのかを考える。 強い雨が降る 強い風が吹く 道が冠水する 崖が崩れる 物が飛ばされる 川の水が溢れる</p> <p style="text-align: center;">↓ 事前の予測が可能である</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">風水害から身を守るために自分でできることは何だろう</div>	<p>○地図・イラスト・写真から、一連の風水害で生じた被害について理解させる。(P9～10)</p>
自分で 取り組む 広げ深める 30分 【個】 【全体】	<p>4 風水害から身を守るための行動について考える。 海や川には近づかない 不必要に外に出ない 崖の近くにはいかない 避難場所への避難 等</p> <p style="text-align: center;">↓ 危険な場所には行かない ハザードマップの活用</p> <p>5 風水害への備えについて考える。 ・水や食料の準備 (どのくらいあるといいのか) ・飛ばされやすい物の整理 ・情報収集 (自治体のHP、ハザードマップ、気象情報) ・身近な人と約束を決めておく ↳ マイ・タイムライン</p> <div style="background-color: #e0e0ff; padding: 10px; border: 1px solid black; margin-top: 10px;"> <p><副読本P14> 家庭学習として家の人と一緒にマイ・タイムラインを作成する活動を取り入れてもよい。</p> </div>	<p>○危険な場所を知るためのハザードマップがあることを紹介し、備えるという視点につなげていく。(P5)</p> <p>○ローリングストックという言葉の紹介をする。(P14) ○マイ・タイムラインの紹介をする。(P14) ☆風水害の特徴を知り、風水害は時系列的に生じることから、事前に取り組むべき行動を考えているか。</p>
まとめ あげる 5分 【全体】	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>大雨や台風の中、避難することは危険も伴う。事前に情報を集め、適切に避難できるよう身近な人と約束事(例：風水害が発生したときに、どのような行動をとり、危険を回避するのか)を決めておくことが大切である。</p> </div>	

第3章 地震や津波に、どう備える？

(1) 目標

地震発生時に自らの命を守るため、避難訓練を通じて、自らの安全を確保する適切な避難行動ができるようにする。

(2) 展開例

過程・時配 (学習形態)	学習活動と内容	○指導上の留意点												
<p>見いだす 10分 【個】</p> <p>自分で 取り組む 広げ深め る 30分 【個】 【全体】</p> <p>まとめ あげる 5分 【全体】</p>	<p>1 地震による揺れや津波などの関心を深める。 ・副読本の第3章 地震や津波に、どう備える？を読む。</p> <p>2 避難訓練を行う。 ・避難訓練計画や危機管理マニュアルの地震対応マニュアルに沿って、避難訓練を行う。</p> <p>3 避難訓練時、避難の行動が正しくできていたかについて振り返りをするとともに、災害特性を知り、今後の生活の中で、自らがとるべき行動や備えについて考える。</p> <p>(1) 地震が発生したときに危険なことを考える。 ・ものが落ちてくる。 ・ものが倒れてくる。 ・ものが移動してくる。</p> <p>(2) 様々な場所において、災害時に考えられる危険と、身を守る行動について考える。</p> <table border="1" data-bbox="272 1352 1011 1787"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>考えられる危険</th> <th>身を守る行動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校</td> <td>窓ガラスが割れる</td> <td>ガラス窓から離れる</td> </tr> <tr> <td>家</td> <td>本や食器などが落ちてくる。</td> <td>テーブルなどの下に入って、頭を守る。</td> </tr> <tr> <td>川や海の近く</td> <td>津波が来る</td> <td>ゆれがおさまったら、川や海から離れて、高いところに避難する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 自分の身を守るために大切なことをまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・あわてない ・危険をさける場所に身を置く ・低い姿勢になる ・頭を守る ・揺れが収まったら、家か学校のうち近い方に行く、もしくは、公園などの避難場所に行く</p> </div>	場所	考えられる危険	身を守る行動	学校	窓ガラスが割れる	ガラス窓から離れる	家	本や食器などが落ちてくる。	テーブルなどの下に入って、頭を守る。	川や海の近く	津波が来る	ゆれがおさまったら、川や海から離れて、高いところに避難する。	<p>○過去に起きた地震や津波の様子から、どのような被害があったのかを知り、避難訓練への意識を高める。</p> <p>○副読本 P24 ワークシートを活用する。</p> <p>○登下校時に地震が起きたときの「安全な行動」、「注意すること」などについても考えさせる。※「学校安全の手引」P134のワークシート</p>
場所	考えられる危険	身を守る行動												
学校	窓ガラスが割れる	ガラス窓から離れる												
家	本や食器などが落ちてくる。	テーブルなどの下に入って、頭を守る。												
川や海の近く	津波が来る	ゆれがおさまったら、川や海から離れて、高いところに避難する。												

総合的な学習の時間 × 防災

各学校は、学習指導要領における「第1 目標」と各学校の教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間の目標を設定する。そして、その目標を実現するにふさわしい探究活動と、その解決を通して育成する資質・能力を定める。そのため、実施学年等を指定することは困難であるため、ここでは、下記の通り例を示す。

探究課題(学習対象)	学習事項	
横断的・総合的な課題(現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観(国際理解)	・日本の伝統や文化とそのよさ ・世界の国々の伝統や文化とそのよさ ・異なる文化と交流する活動や取組 など
	情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化(情報)	・多様な情報手段の機能と特徴 ・情報環境の変化と自分たちの生活との関わり ・目的に応じた主体的な情報の選択と発信 など
	身近な自然環境とそこに起きている環境問題(環境)	・身近な自然の存在とそのよさ ・環境問題と自分たちの生活との関わり ・環境の保全やよりよい環境の創造のための取組 など
	身の回りの高齢者とその暮らしを支える仕組みや人々(福祉)	・身の回りの高齢者とその暮らし ・地域における福祉の現状と問題 ・福祉問題の解決やよりよい福祉を創造するための取組 など
	毎日の健康な生活とストレスのある社会(健康)	・社会の変化と健康の保持・増進をめぐる問題 ・自分たちの生活習慣と健康との関わり ・より健康で安全な生活を創造するための取組 など
	自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題(資源エネルギー)	・生活を支える資源・エネルギー活用の多様さと重要性 ・資源・エネルギー問題と自分たちの生活との関わり ・省資源・省エネルギーに向けての取組 など
	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々(安全)	・身近な地域の交通や防犯上の問題 ・まちの安心・安全を支える人々や組織の取組 ・より安心・安全な生活を創造するための取組や協働することの意義 など
	食をめぐる問題と地域の農業や生産者(食)	・地域の農業や生産者の現状と日本の食糧問題 ・食の安全や食料確保と自分たちの生活との関わり ・食をめぐる問題の解決とよりよい食生活を指した取組 など
	科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化(科学技術)	・科学技術の進歩と便利で快適になった暮らし ・科学技術の進歩と私たちの生活との関わり ・科学技術をよりよく生活に生かし豊かな生活を創造しようとする取組 など
	地域や学校の特色に応じた課題	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織(町づくり)
地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々(伝統文化)		・地域の伝統や文化のもつ特徴 ・地域の伝統や文化の継承に力を注ぐ人々の思い ・地域の一員として、伝統や文化を守り、受け継ごうとする活動や取組 など
商店街の再生に向けて努力する人々と地域社会(地域社会)		・社会の変化と地域の商店街が抱える問題 ・商店街の再生に向けて努力する人々の思い ・地域の一員として、地域社会の再生に関わろうとする活動や取組 など
防災のための安全な町づくりとその取組(防災)		・災害の恐ろしさや防災意識の大切さ ・地域や学校で防災に取り組むよさと安全な町づくり、学校づくり ・地域や学校の一員として、災害に備えた安全な町づくり、学校づくりに関わろうとする活動や取組 など ・地域で暮らす人々の存在と関わりを大切にする意識
関心・児童の興味・関心に基づく課題	夫社会で働く人々の姿と自己の将来(キャリア)	・地域社会を支える様々な職業や機関 ・自分自身のよさへの気付きと将来展望 など
	ものづくりの面白さや工夫と生活の発展(ものづくり)	・ものづくりの面白さとそれを生かした生活の豊かさ ・ものづくりによる豊かな社会と暮らしの創造 ・快適で自分らしい生活環境を整える活動 など
	生命現象の神秘、不思議、すばらしさ(生命)	・生命現象の神秘や不思議、すばらしさ ・かけがえのない存在としての自分への気付きと自尊心 ・自他の生命を尊重し大切に取る取組 など

図3 探究課題と学習事項の例(小学校)

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」

文部科学省(令和3年3月)

……学習活動の一例……

災害について調べる

- ・過去の自然災害における千葉県内の被害状況について調べる。(P3、P9～10、P21～23)
- ・身近な人に過去の自然災害の被害についてインタビューする。(P8、P20)
- ・県や市町村の防災対策について調べる。ゲストティーチャーから話を聞いたり、学校にある備蓄倉庫等を調べたりする。
- ・地域の避難所を調べたり、避難所生活で気を付けることを考えたりする。(P37)

安全マップ作り(防災)

- ・校内安全マップを作成する。校内の危険箇所を写真に撮影する。どのような危険が生じるか、どのように対策をすればよいのかを考え、マップにまとめていく。
- ・通学路安全マップを作成する。通学班ごとにグループを編成し、自分たちの通学路で危険な場所を共有したり、登下校中に地震が起きた際の避難方法についてまとめたりする。(P24)

体験学習

- ・起震車体験をする。
- ・校舎の高さを活用したり、児童の身長何人分など具体物を活用したりして津波の高さを体感する。
- ・津波の速さを体感する。

マイ・タイムライン(防災行動計画)作り

- ・風水害について知る。(P4、P9～15)
- ・ハザードマップや警戒レベルなど身を守るために必要な情報収集について調べる。(P5、P15)
- ・マイ・タイムラインを作成する。(P14)